

人材育成 — 1 マネジメント 1

新藤 信夫

教育とは、本人が備え持っている能力を引き出し、伸ばすことを言う。学校教育のように、知識を詰めこむことが主体ではなく、**自分はどう考え、どう行動すべきか**の大切さを知って、**本人の能力**を引き出すものであります。

①、目的、目標を与えて実現の方法を考えさせることで、能力が向上してくる。教育で教えずぎるのは、本人の思考を省略させるのでマイナスになる。②、異質の仕事を経験させる。同一の仕事を長年担当していると、人の能力は、飽和点に達し、分かったつもりになり、仕事に対する感度や、行動力が鈍くなる。(人事ローテーションの役割)③、現在の能力よりやや上の仕事を担当させる。仕事の範囲を広げたり、レベルを上げることにより、創意工夫や、研究することにより、本人の能力を引き出していけるようにしたい。 **スカウトの教育も同じことが言えるのではないでしょう**か。以下の項目をスカウト活動に置き換えて検討してみてください。

定型訓練 ⇒ 訓練&研修

- * 会社における教育訓練は、新入社員訓練、班長訓練、管理職訓練、経営職訓練、役員研修などがある。スカウト教育では、指導者講習会、WB研修所、WB実習所、コミッショナー研修所、コミ実などがある
- * 訓練とは、仕事の基本や技能を相手が出来るようになるまで教え込むことを言う。
- * 訓練の手順は、①、教える準備をする。②、手順に従ってやってみせる。③、やらせてみる。④、教えた後を見る。(仕事に付かせアフターケアをし修正する)
- * 研修とは、職場におけるテーマなどを受講者が自ら考え、討議し、行動革新を決意することを研修という。研修した事が「わかった」から「できる」レベルにする。

自己啓発 & OJT(On the Job training)

- * 余暇を利用して、自分の知識、教養を高めること。資格取得を目指したり、語学の勉強をしたり、自ら学ぶ習慣を生涯持ち続けたいものである。
- 1、目標を決める。(いつ迄に、何のために、何をするなど)自己啓発は明確な目標設定が大切である。
- 2、仕組みや習慣を作る。どのような方法で実施するかを設定して習慣化する。
- ③、援助制度を活用する。会社などの教育制度などの援助制度を活用する。
- * OJTとは仕事を通して部下の教育訓練をすること。スカウト教育で言っているインサービスサポートです。
- * 新人にはやって見せ、ベテランには目的目標を示す

2020年からの日本の教育のやり方が大きく変わる予定です。①、「何を学ぶか」だけでなく、「何ができるようになるか」知識を活用する力を求める教育改革。②、使える英語を目指して「聞く、読む、話す、書く」の4技能取得を求める英語改革。③、学んだことを理解するだけでなく、知識を活用する力・学びに向かう力も評価する大学入試改革。変化の激しい時代を生きる子供たちが、社会の中で活躍できる資質・能力を育成する。これまでの、知識や技能を習得するだけでなく、それをもとに、「自分で考え、表現し、判断し、実際の社会で役立てる」ことを求めています。

率先垂範 & リーダーシップ

- * 自らが先頭に立ち、他人への模範を示し、絶えず部下の見本となるような考え方、行動が求められている
- * 率先すべきこと、率先すべきでないことの区分を
- 1、他の模範となるべきこと。言動一致、規則、約束を守る、仕事の基本を実践しているなど。
- 2、他人の嫌がることを進んで引き受けるクレームの処理、上司の説得、他部門調整など
- 3、新しいこと、困難なことに挑戦すること。新規事業、業務改善・改革テーマへの取り組み
- * リーダーシップとは目的達成のために各方面に働きかけ、説得、折衝により相手を納得、合意させ結果を出す

山本五十六の教え

* 不戦平和を求め、最後の最後まで戦争に反対しながら、いざ開戦のご聖断が下るや、連合艦隊司令長官としてハワイ真珠湾奇襲攻撃を成功させ、その2年後 ソロモン諸島で戦死する。

